

第三次千曲市総合計画策定方針

令和3年2月

千曲市 企画政策部 総合政策課

目 次

1. 計画策定の趣旨	1
2. 策定の基本的視点	1
① 新たな社会に対応した「安全・安心なまちづくり」を目指す計画	1
② S D G s の理念を踏まえた持続可能なまちづくりを目指す計画	1
③ 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合	1
④ 厳しい財政事情への対応	1
⑤ 財政計画の策定	2
3. 計画期間・体系の見直し	2
4. 市民参加の手法、情報公開	2
5. 庁内の推進体制	2
6. 議会連携・連帯	3
7. 策定スケジュール	3・4

1. 計画策定の趣旨

第二次千曲市総合計画策定（平成 29(2017)年）後に生じた社会・経済情勢の変化に的確に対応し、今後の市政の方向性を明らかにするため、新たな総合計画を策定する。

2. 策定の基本的視点

第三次千曲市総合計画は、千曲市の将来像を展望し、これを実現するための行動計画とするため、以下に掲げる基本的視点により策定する。

① 新たな社会に対応した「安全・安心なまちづくり」を目指す計画

令和元年東日本台風災害を教訓に、被災後の復興指針をまとめた「千曲市復興計画」を引き継ぐとともに、新型コロナウイルス感染症による社会の変化に対応した行政経営が必要となることから、最先端技術を活用した「安全・安心なまちづくり」を目指した計画とする。

② SDGs の理念を踏まえた持続可能なまちづくりを目指す計画

SDGs の理念に基づき施策を体系的に整理し、市民や市内事業者等と共通の目標とすることで、官民一体となった持続可能なまちづくりを目指す計画とする。

③ 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合

次期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略を本計画に統合することで、施策の位置付けや進行管理を明解にし、市民にとって分かりやすい計画とする。

④ 厳しい財政事情への対応

各施策・事業は、その必要性に立ち返って様々な視点から検討する必要がある、「量から質への転換」「選択と集中」など、限られた経営資源を効率的に配分し、財政状況等に即したより実効性のある計画とする。

⑤ 財政計画の策定

本計画の計画期間中に実施する主な大規模事業を見込み、年度ごとの財政規模を推計する。

3. 計画期間・体系の見直し

社会・経済環境が刻々と変化する中、潮流を的確に捉え、市政の方向性を明らかにしていくため、計画期間・体系の見直しを行う。

4. 市民参加の手法、情報公開

策定に当たっては、「市民とともに考え、市民とともに決定する」というパートナーシップの理念を尊重していく。

そのため、計画案の作成段階からアンケート調査やワークショップなどを実施して市民の意見反映に努めるとともに、まちづくり懇談会やパブリックコメントなどにおいて素案に対する意見を募り、積極的な市民参画を図る。

また、各種団体の代表者や市政について識見を持つ者で構成する「千曲市総合計画審議会」を設置し、より多くの意見を反映させるとともに、策定の進捗状況を公開していく。

5. 庁内の推進体制

庁内での推進組織として「千曲市総合計画策定委員会」を設置し、計画案の策定を進める。計画案策定に当たっては、「千曲市職員提案規程」を準用し、職員の意見・提言を求めていく。

また、将来の千曲市を見据えた計画を策定していくことの重要性に鑑み、行政評価制度の定着を図る。

6. 議会連携・連帯

総合計画の策定にあたり、議会との連携・連帯は不可欠である。策定の進捗状況に応じて、議会に諮りながら進めていく。

7. 策定スケジュール

策定スケジュールは、次頁のとおりとするが、必要に応じて調整をしていく。

第三次千曲市総合計画 策定スケジュール

